

令和8年度 浜松河川国道事務所 事業概要

国土交通省 中部地方整備局
浜松河川国道事務所
令和8年4月

目 次

■ 浜松河川国道事務所の事業概要

○令和8年度事業実施箇所	……	1
--------------	----	---

■ 治水関連事業

○治水関連事業の概要	……	2
------------	----	---

○予算（治水）	……	3
---------	----	---

○事業実施箇所（治水）	……	4
-------------	----	---

菊川河道掘削	……	5
--------	----	---

天竜川河道掘削	……	6
---------	----	---

菊川・天竜川水系の維持修繕	……	7
---------------	----	---

堰堤維持（新豊根ダム）	……	8
-------------	----	---

○流域治水の推進

流域のあらゆる関係者が協働して対策を実施	……	9
----------------------	----	---

遠州流域治水協議会	……	10
-----------	----	----

菊川水系黒沢川を特定都市河川に指定	……	11
-------------------	----	----

■ 道路関連事業

○事業実施箇所（道路）	……	12
-------------	----	----

○道路関連事業の概要	……	13
------------	----	----

○予算（道路）	……	14
---------	----	----

○人流・物流を支えるネットワークの整備

三遠南信自動車道 （水窪佐久間道路、佐久間道路・三遠道路）	……	15
----------------------------------	----	----

国道1号の概要	……	19
---------	----	----

国道1号島田金谷バイパス	……	20
--------------	----	----

国道1号浜松バイパス（長鶴～中田島）	……	22
--------------------	----	----

○道路ネットワーク整備に向けた道路調査	……	24
---------------------	----	----

○交通の安全・安心の確保

国道1号、474号の道路管理	……	25
----------------	----	----

交通安全対策	……	26
--------	----	----

道の駅	……	27
-----	----	----

生活道路の交通安全対策の支援	……	28
----------------	----	----

■ 災害対応

○TEC-FORCE活動、自治体支援	……	29
--------------------	----	----

■ その他

○地域と連携した取り組み	……	31
--------------	----	----

治水関連事業の概要



河川改修

- 流下断面確保を目的として、河道掘削を実施
- 堤防強化のため、高潮堤防整備を実施

■ 令和8年度実施内容

<菊川水系>

- ・菊川本川中下流部の河道掘削を実施

<天竜川下流>

- ・河道掘削を実施



河川維持修繕

- 堤防の状態を把握するための堤防除草を実施
- 巡視や点検により河川管理施設の異常や損傷を把握し、計画的に維持修繕を実施

■ 令和8年度実施内容

- ・河川巡視を実施
- ・堤防除草を実施
- ・河川管理施設点検を実施
- ・維持修繕を実施



河川工作物関連応急対策

- 既設の樋門や排水機場等河川工作物の質的改善や機能向上を目的に計画的に修繕を実施

■ 令和8年度実施内容

<菊川水系>

- ・江川排水機場ポンプ設備修繕



堰堤維持

- 新豊根ダム下流の洪水防御をするため、日ごろからの各種施設点検及び流木処理などの維持管理
- 洪水予測精度の向上を図る

■ 令和8年度実施内容

- ・維持管理を実施
- ・巡視を実施

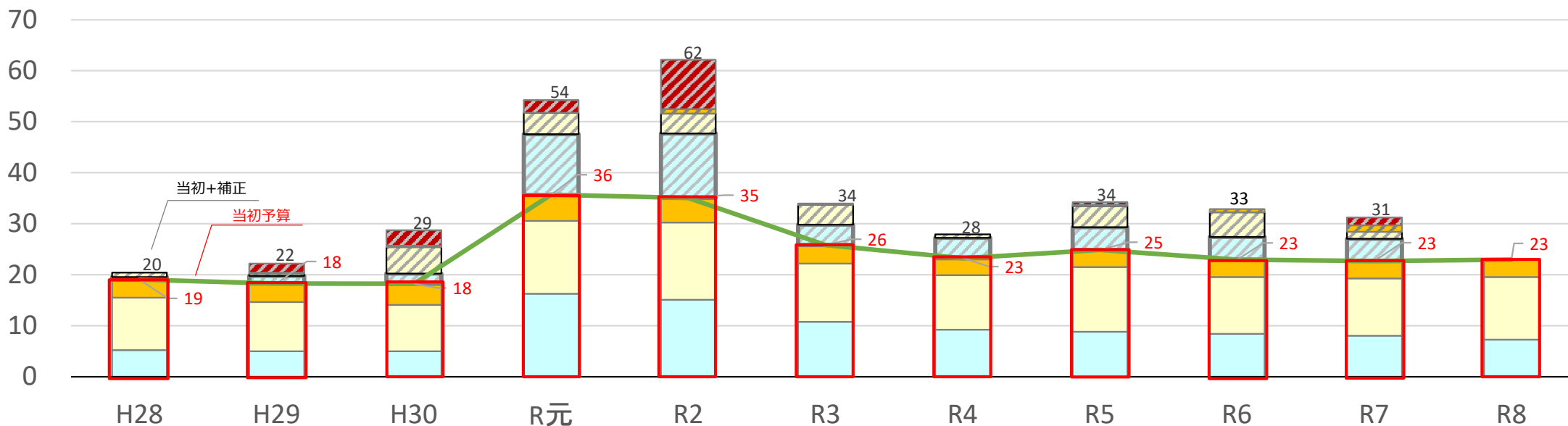
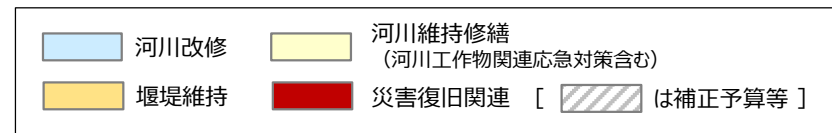
浜松河川国道事務所の予算(治水)

令和8年度治水関連予算

事業内容	R7 当初+補正		R8当初見込み	伸率 (R8当初/R7当初)
	R7当初	R7補正		
河川改修	1,241	805	436	0.91
菊川	653	480	173	0.86
天竜川下流	588	325	263	0.97
河川維持修繕	1,135	1,001	134	1.08
菊川	631	541	90	1.04
天竜川下流	504	460	44	1.14
河川工作物関連応急対策	120	120	0	1.17
菊川	120	120	0	1.17
堰堤維持(新豊根ダム)	474	344	130	1.00
災害復旧関連	152	-	152	-
事務所の治水関連予算	3,122	2,270	852	1.01

治水関連予算の推移

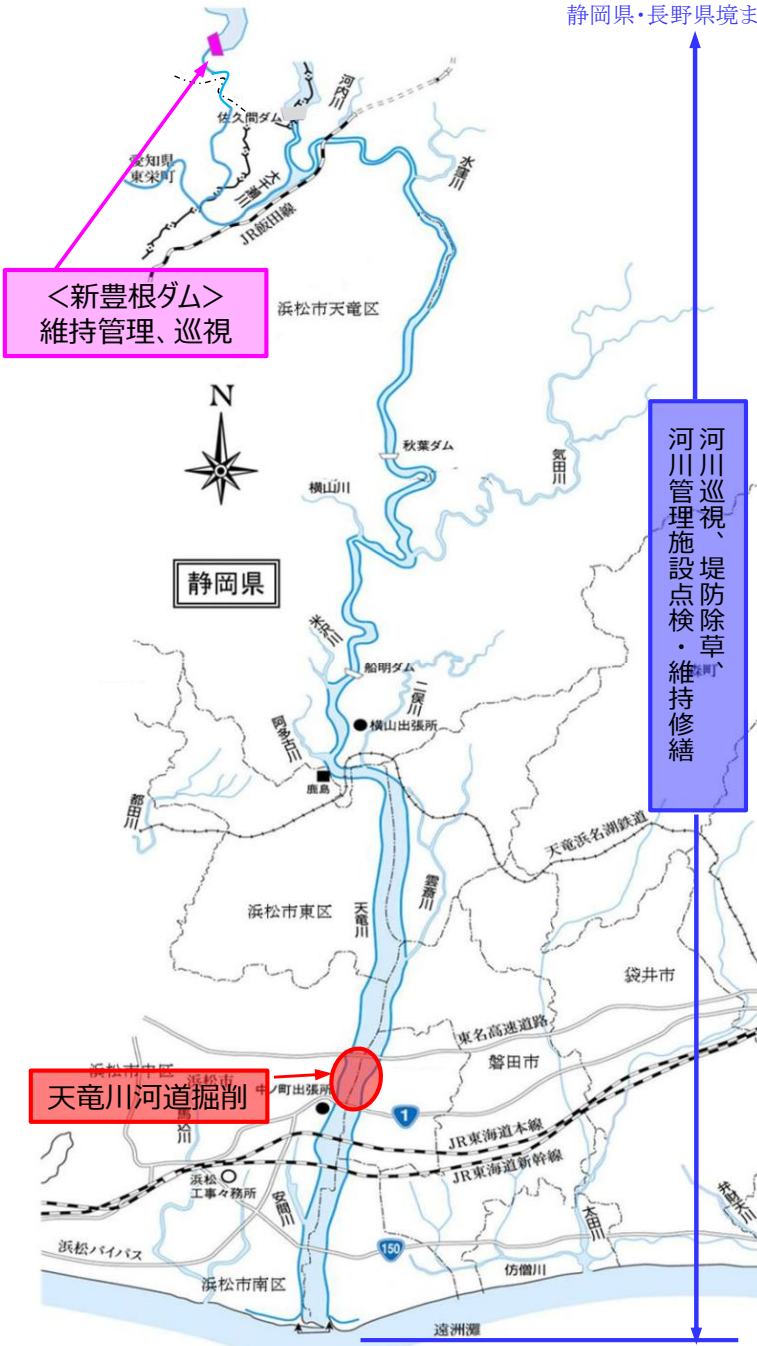
(億円)



令和8年度 事業実施箇所(治水)

天竜川水系

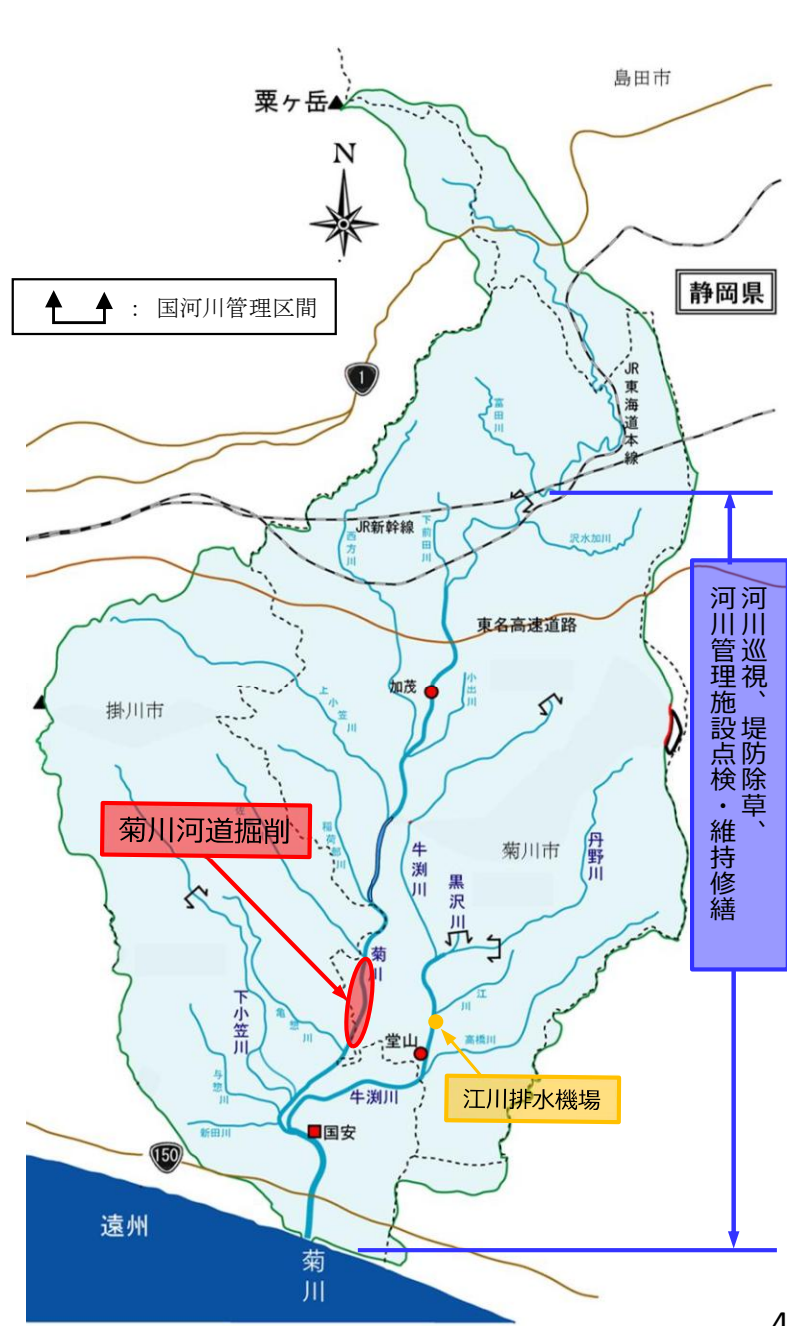
静岡県・長野県境まで



管理区間 (延長)		
菊川水系	菊川	17.6km
	牛淵川	12.3km
	丹野川	1.6km
	黒沢川	0.5km
	下小笠川	4.4km
天竜川水系	天竜川	95.0km
	新豊根ダム	11.3km

凡例	
● (Red)	河川改修
● (Blue)	河川維持修繕
● (Yellow)	河川工作物関連応急対策事業
● (Pink)	堰堤維持

菊川水系



河川改修 < 菊川河道掘削 >

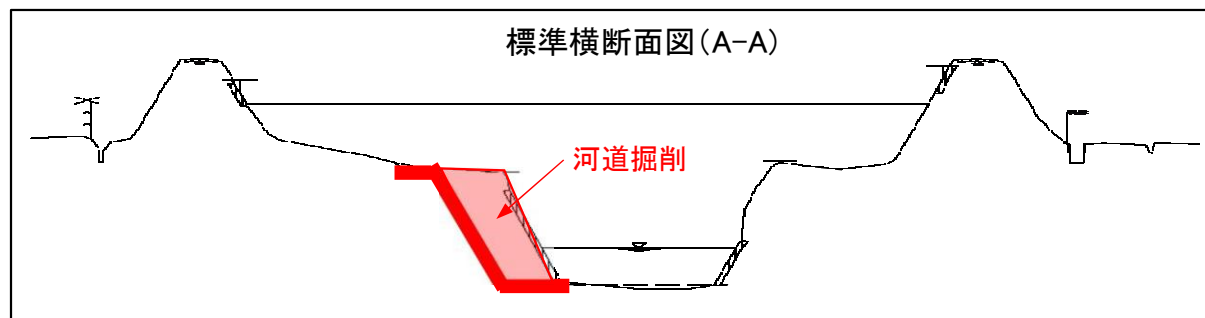
- 菊川整備計画目標流量を安全に流下させるために必要な河道断面確保のため、河道掘削を実施
- 令和8年度は、引き続き、大石地区・嶺田地区の河道掘削を実施



■ 河道掘削の様子 (大石工区)

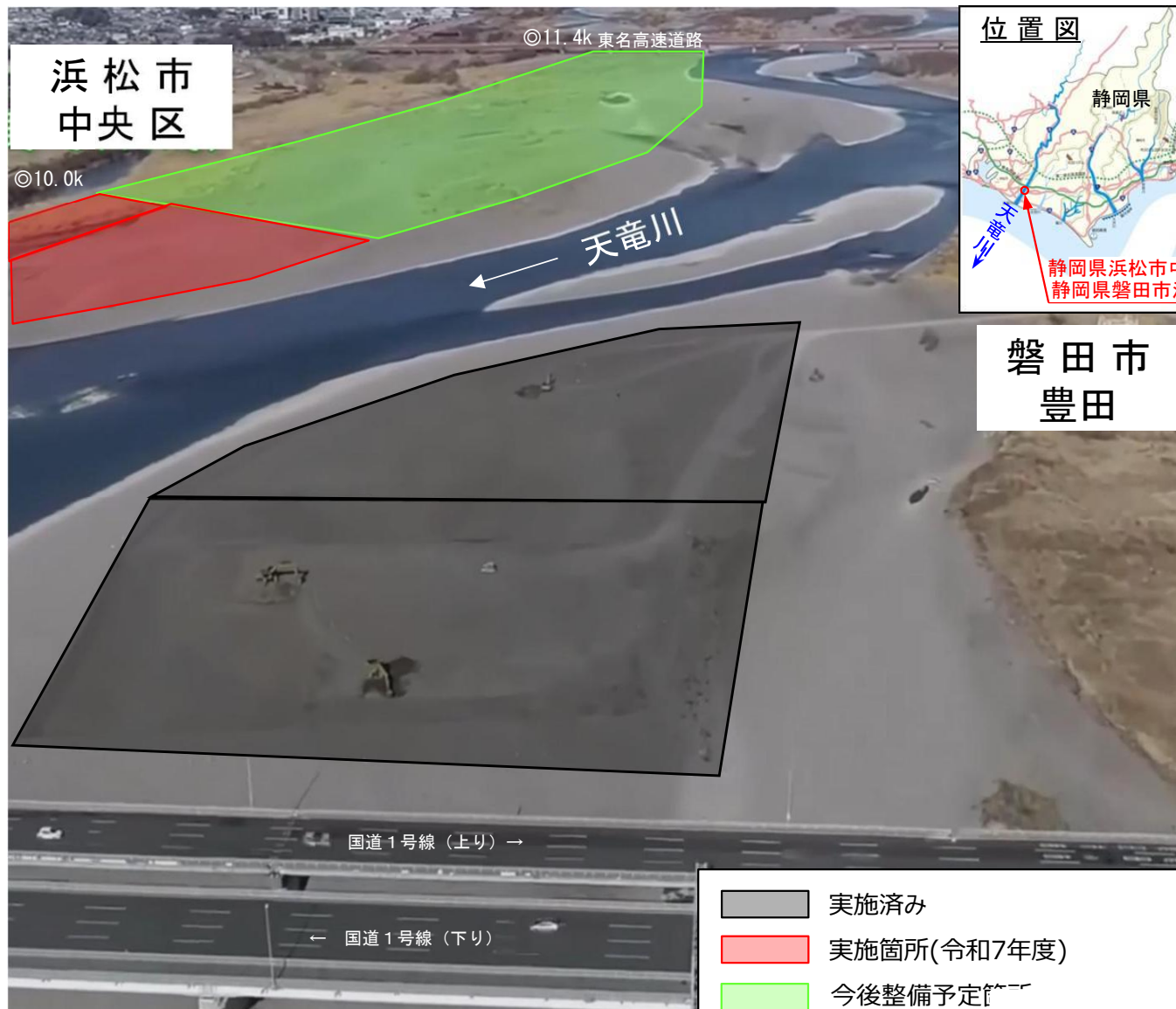


- 実施済み
- 実施箇所(令和7年度)
- 今後整備予定箇所

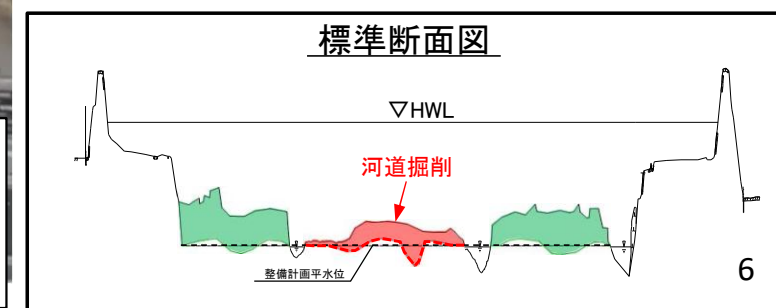


河川改修 <天竜川河道掘削>

- 天竜川整備計画目標流量14,400m³/sを安全に流下させるために必要な河道断面確保のため、河道掘削を実施
- 掘削した土砂は養浜材（県事業）として利用することにより、海岸侵食に寄与。また、磐田市における防潮堤事業にも利用予定
- 令和8年度は、中野町・池田地区（10.0k付近）の河道掘削を実施



■ 掘削の様子（池田工区）



河川維持修繕 < 菊川・天竜川水系の維持修繕 >

- 水災害の防止・軽減を図るため、堤防除草、巡視・点検による河川管理施設等の状態把握、点検結果による維持修繕を実施。
- 令和8年度の主な事業内容として、
 - ・堤防除草及び河川管理施設の点検、維持修繕工事を実施。
 - ・機能を向上させつつ、老朽化した施設の修繕を実施。

■ 施設点検



■ 江川排水機場 ポンプ更新



■ 堤防除草



■ 江川排水機場 除塵機更新



堰堤維持 <新豊根ダム>

- 新豊根ダム下流の洪水防御をするため、日ごろからの各種施設点検及び流木処理などの維持管理を行うとともに洪水予測精度の向上を図る
- ダム下流の氾濫軽減のための防災操作を確実に実行する取り組みを実施

放流の様子



ダム湖の様子



流木処理



堤体計測



ゲート操作（防災操作）



ダム一般公開



ダム大学



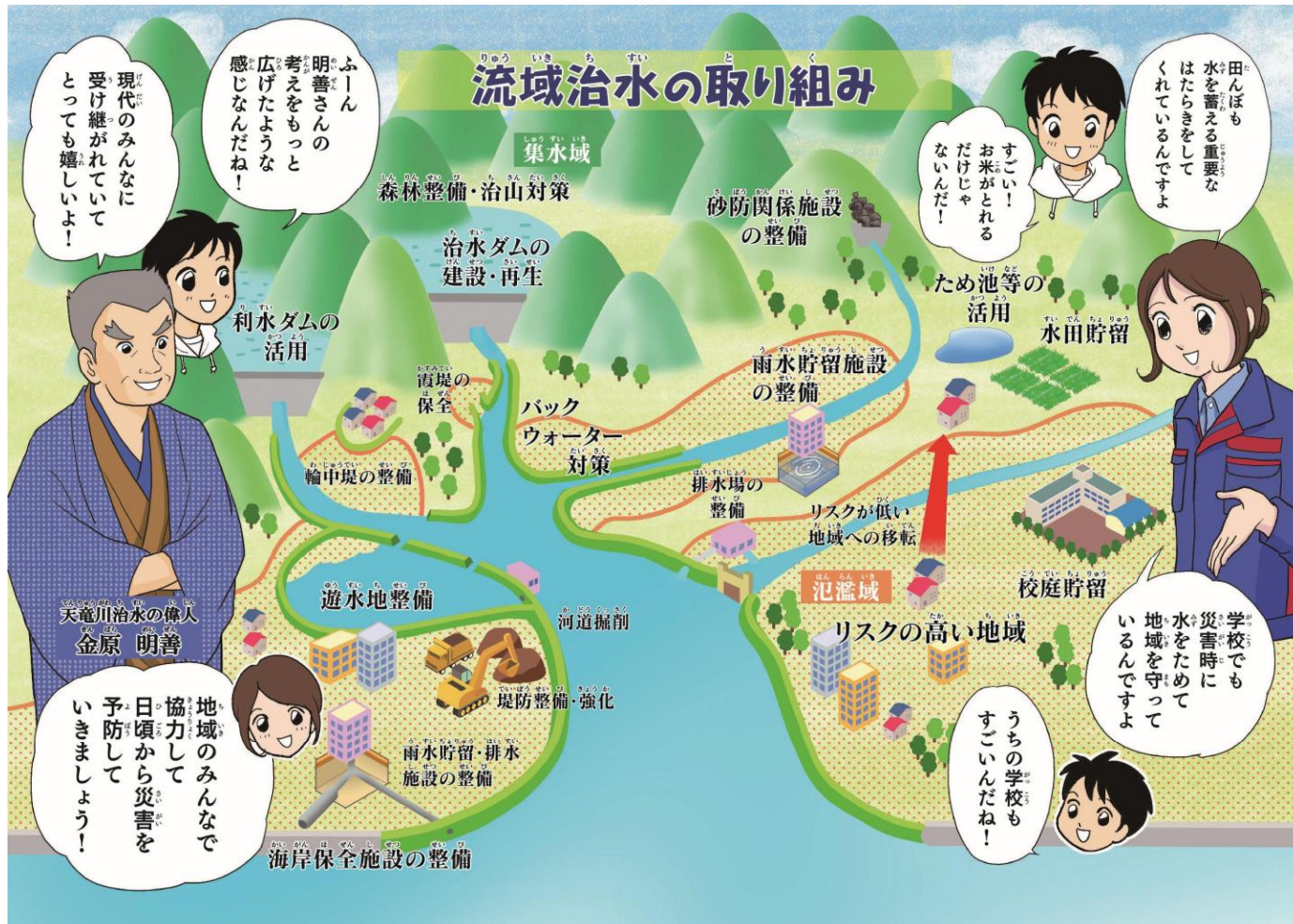
<https://www.facebook.com/shintoyone>



facebookpage
新豊根ダム

流域治水の推進 <流域のあらゆる関係者が協働して対策を実施>

○ 気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う水災害対策「流域治水」を推進



森林整備 (林野庁等)



水防訓練の実施 (森町等)



河道掘削 (静岡県等)



避難計画作成支援 (静岡県等)



避難訓練の実施 (静岡県等)



防災啓発活動の実施 (国交省等)



水田貯留 (菊川市等)



雨水貯留施設の整備 (雨庭の設置) (磐田市等)



校庭貯留の推進 (浜松市等)

流域治水の推進 <遠州流域治水協議会>

- あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」を計画的に推進するため、協議会を設置し、協議及び情報共有を行っている
- 令和7年度に開催した協議会では、流域治水対策推進にあたっての課題や課題解決にむけた対応策等について共有し、今後の取組方針について了承された。

令和7年度 遠州流域治水協議会開催概要

日時：令和8年3月19日（木）13：30～15：00
会場：袋井新産業会館キラット（WEB併用）



協議会の様子



協議会の様子（WEB）

議事：

- 大規模氾濫減災協議会と流域治水協議会の位置付け・取組方針
- 今年度の進捗状況・課題に対する対応策の共有
- 防災気象情報の改善について
- 水害リスクマップの公表について
- 今後の予定
- 令和8年度 天竜川下流連合総合水防演習について 等

参加機関：38機関（ ）：オブザーバー

- 自治体関係：浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、菊川市、御前崎市、森町、設楽町、東栄町
 静岡県関係：危機管理部、総務部西部地域局、健康福祉部政策管理局、交通基盤部河川砂防局、西部農林事務所、中遠農林事務所、浜松土木事務所、袋井土木事務所（経済産業部農地局、経済産業部森林・林業局）
 愛知県関係：新城設楽建設事務所（農林基盤局林務部森林保全課、建設局河川課）
 国関係：農林水産省林野庁天竜森林管理署、国土交通省浜松河川国道事務所、天竜川ダム再編工事事務所、気象庁静岡地方気象台（農林水産省関東農政局、中部運輸局）
 関係団体：電源開発株式会社水力発電部、遠州鉄道株式会社、天竜浜名湖鉄道株式会社、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター（スズキ株式会社、株式会社静岡新聞社、アロン化成株式会社、エアロトヨタ株式会社、株式会社JX通信社、八千代エンジニアリング株式会社）

遠州流域治水 オフィシャルサポーター企業 による展示ブースの様子



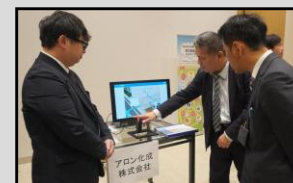
(株)JX通信社



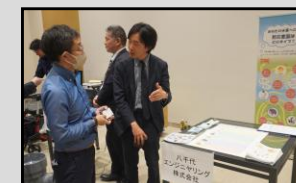
スズキ(株)



エアロトヨタ(株)



アロン化成(株)

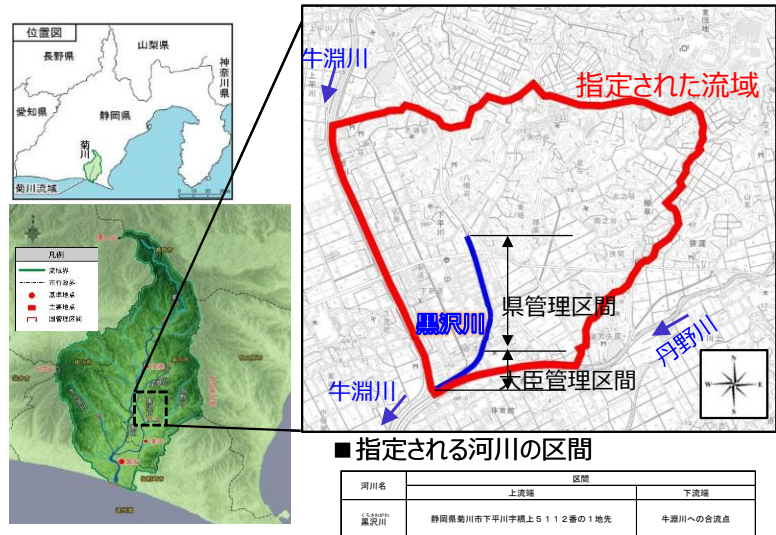


八千代エンジニアリング(株)

流域治水の推進 < 菊川水系黒沢川：流域水害対策協議会を設置 >

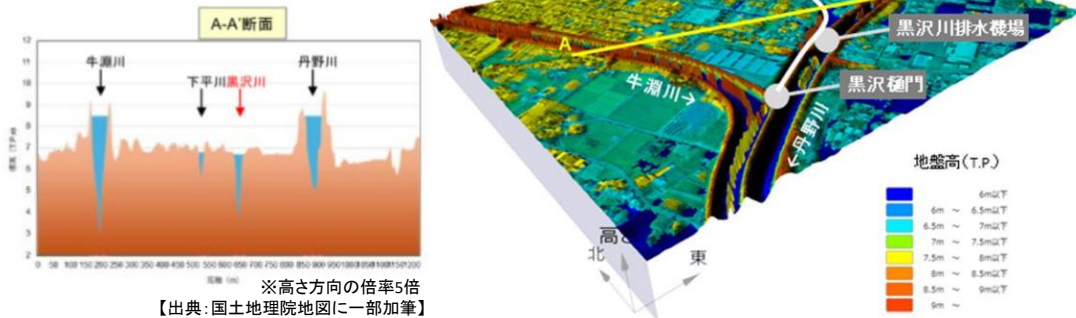
- 流域治水の本格的な実践に向けて、流域治水関連法の中核をなす特定都市河川浸水被害対策法第3条第1項等に基づき、令和7年3月31日、菊川水系黒沢川を、特定都市河川に指定
- 国・県・市等からなる流域水害対策協議会を令和7年11月7日に組織し、浸水被害対策を流域一体で計画的に進めるための流域水害対策計画の策定を進めている

■ 菊川水系黒沢川
 河川延長：1.3km（大臣管理区間0.45km、県管理区間0.85km）
 流域面積：3.3km²



黒沢川流域の特徴

黒沢川流域は菊川支川の牛淵川と丹野川の堤防に囲まれた地域であり、降った雨が流域内にとどまりやすい地形のため内水氾濫が発生しやすい



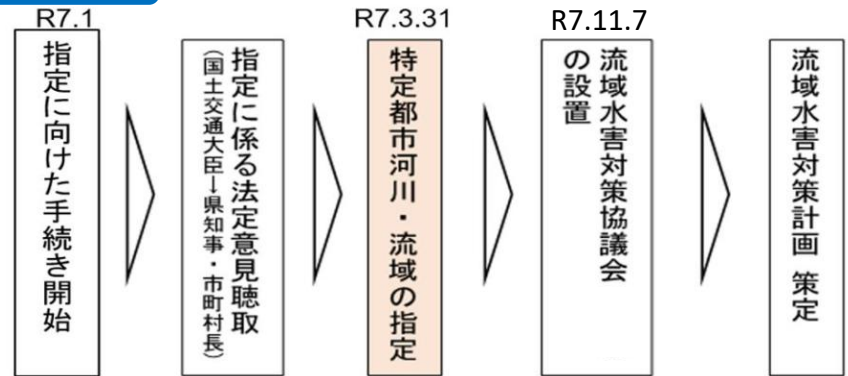
過去の浸水被害

年	流域平均雨量[mm/12hr]		確率規模 (国安基準)	浸水面積 (ha)	浸水範囲から推定した 黒沢川流域の浸水家屋数	
	黒沢川流域	国安上流域			床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
S57.9	269	275	1/180	108	不明	不明
H10.9	170	224	1/29	35	不明	不明
H16.10	195	181	1/7	24	2	23
H25.4	149	167	1/5	17	1	8
H26.10	130	153	1/3	45	2	19
R1.10	293	274	1/180	21	22	59
R4.9	220	228	1/30	46	0	5

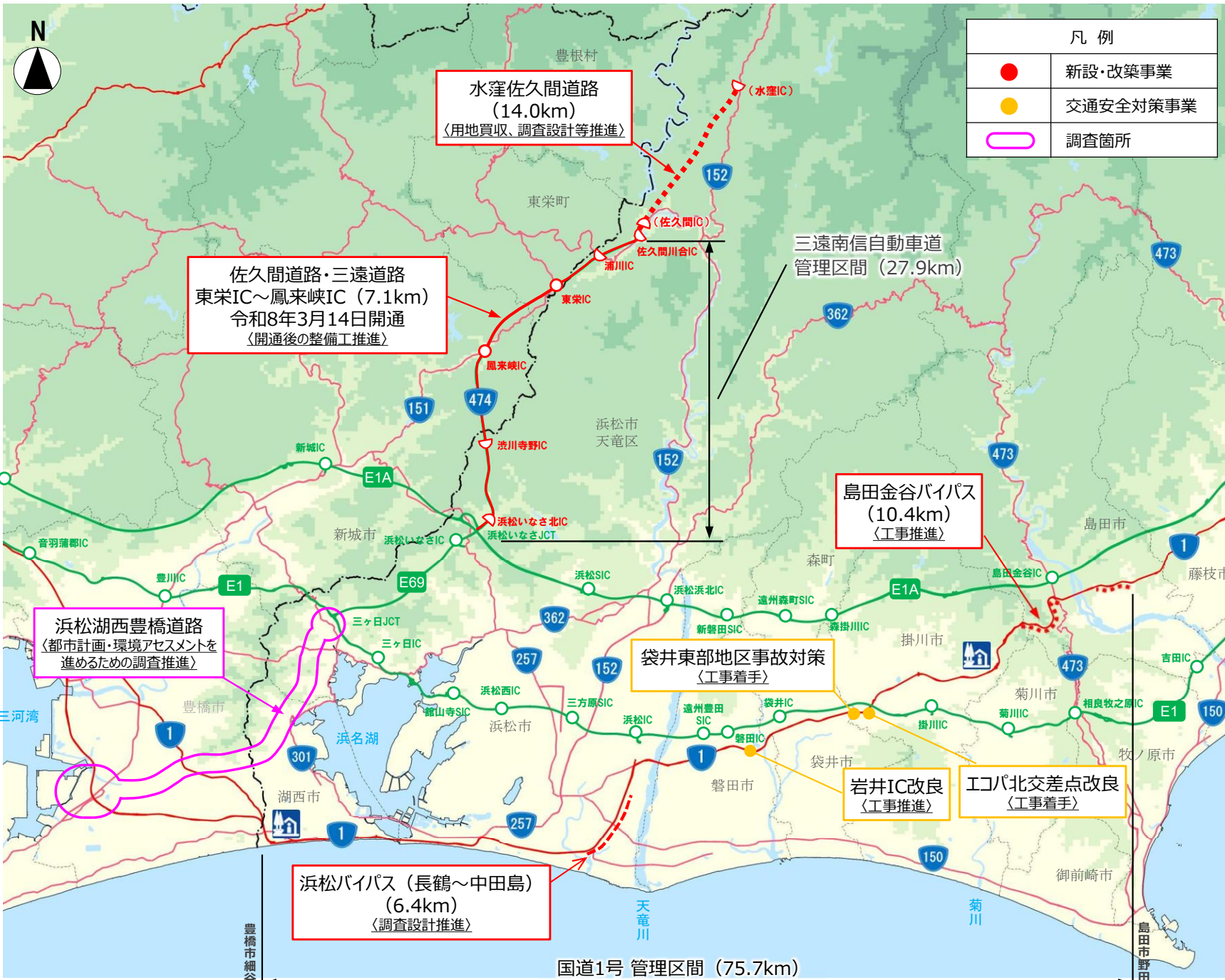


浸水状況

今後の予定



令和8年度浜松河川国道事務所の事業実施箇所(道路)



凡例	
● (赤)	新設・改築事業
● (黄)	交通安全対策事業
○ (ピンク)	調査箇所

令和8年度実施箇所

● 新設・改築事業

- 三遠南信自動車道
- ・水窪佐久間道路
- ・佐久間道路・三遠道路

国道1号

- ・島田金谷バイパス
- ・浜松バイパス (長鶴～中田島)

● 道路調査

- ・浜松湖西豊橋道路

● 交通安全対策

- ・工コパ北交差点改良
- ・袋井東部地区事故対策
- ・岩井IC改良

● 道路維持管理

- ・国道1号 75.7km
- ・三遠南信自動車道 27.9km

※ IC名 () 書きは仮称

<新設・改築事業>

- 三遠南信地域の高速交通サービスの提供、地域交流支援および災害に屈しない強靱な国土づくりのために、三遠南信自動車道の整備を実施
- 国道1号の物流の効率化、交通渋滞の解消を図るとともに、災害に屈しない強靱な国土づくりのために、島田金谷バイパスの4車線化及び浜松バイパス（長鶴～中田島）の立体化・現道拡幅整備を実施

■令和8年度実施内容（R7補正予算含む）

<水窪佐久間道路>

- ・環境調査、水文調査、地質調査、用地調査、道路予備修正設計、道路・橋梁・トンネル詳細設計、用地買収を実施

<佐久間道路・三遠道路>

- ・東栄IC～鳳来峡ICの開通後の整備工事等を実施

<国道1号島田金谷バイパス>

- ・大代IC～掛川市佐夜鹿にて用地調査、移転補償、改良工、橋梁下部工、橋梁上部工等を実施

<国道1号浜松バイパス（長鶴～中田島）>

- ・地質調査、道路詳細設計、橋梁詳細設計を実施

<道路維持管理>

- 国道1号及び三遠南信自動車道の道路管理（道路巡視、維持・修繕、道路規制・情報提供および許認可業務等）を実施

<道路調査>

- 道路ネットワークの整備に向け道路調査を実施

■令和8年度実施内容

<浜松湖西豊橋道路>

- ・都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施

<交通安全対策>

- 円滑な道路交通を確保し、交通事故の防止を目的とし、国道1号の交通安全対策及び生活道路安全対策支援を実施

■令和8年度実施内容

<エコパ北交差点> [掛川市内]

- ・交差点のコンパクト化及び上り線の右折車線の延伸に向け工事に着手

<袋井東部地区事故対策> [掛川市～袋井市]

- ・交差点のコンパクト化及び上り線の右折車線の延伸に向け工事に着手

<岩井IC改良> [磐田市内]

- ・IC交差点の左折直進車線を延伸する工事を推進

浜松河川国道事務所の予算(道路)

令和8年度道路関連予算

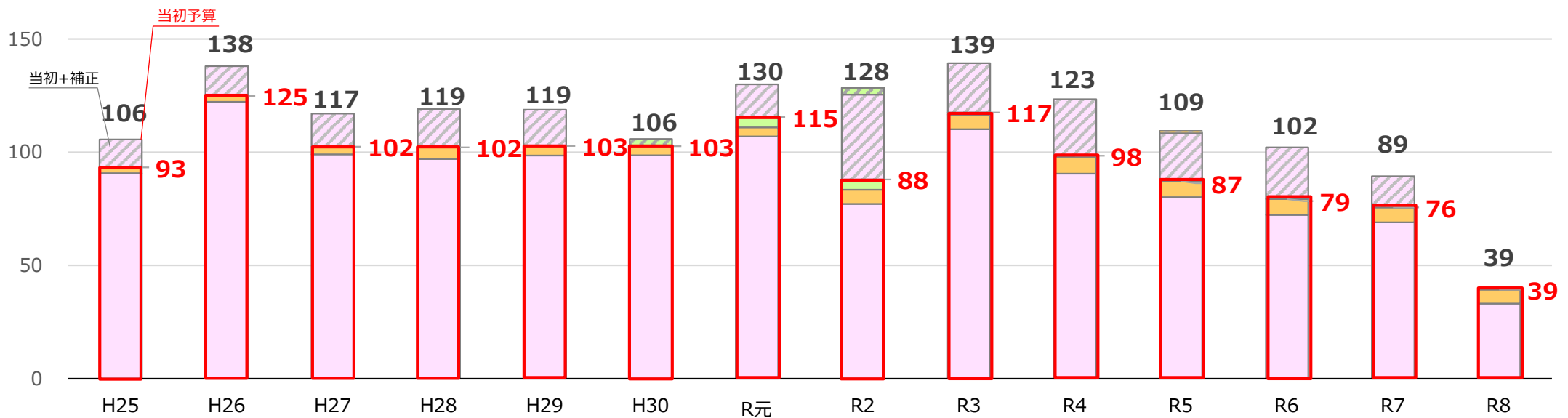
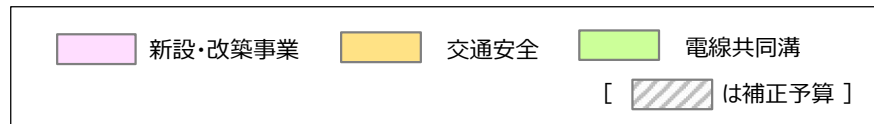
(単位：百万円)

事業内容	R7当初+補正		R8当初	伸率 (R8当初/R7当初)
	R7当初	R7補正		
新設・改築事業	8,280	6,908	3,315	0.48
国道1号島田金谷バイパス	1,101	969	1,039	1.07
国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)	180	110	190	1.73
国道474号佐久間道路・三遠道路	5,899	5,029	1,286	0.26
国道474号水窪佐久間道路	1,100	800	800	1.00
道路管理事業	654	654	615	0.94
交通安全	654	654	615	0.94
事務所の道路関係予算	8,934	7,562	3,930	0.52

※この他に維持管理、調査、受託等の予算がある

道路関連予算の推移

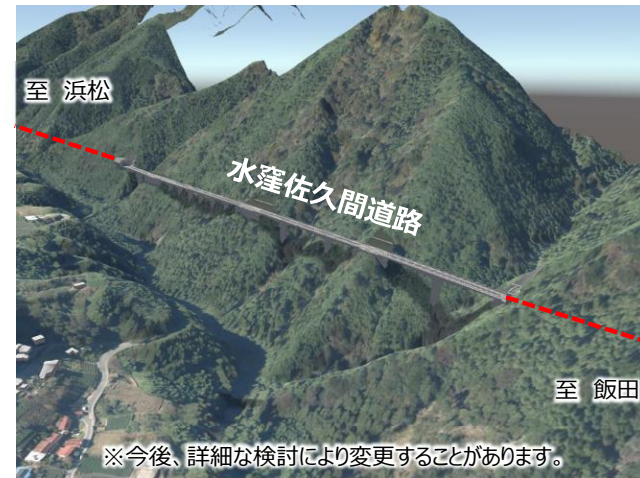
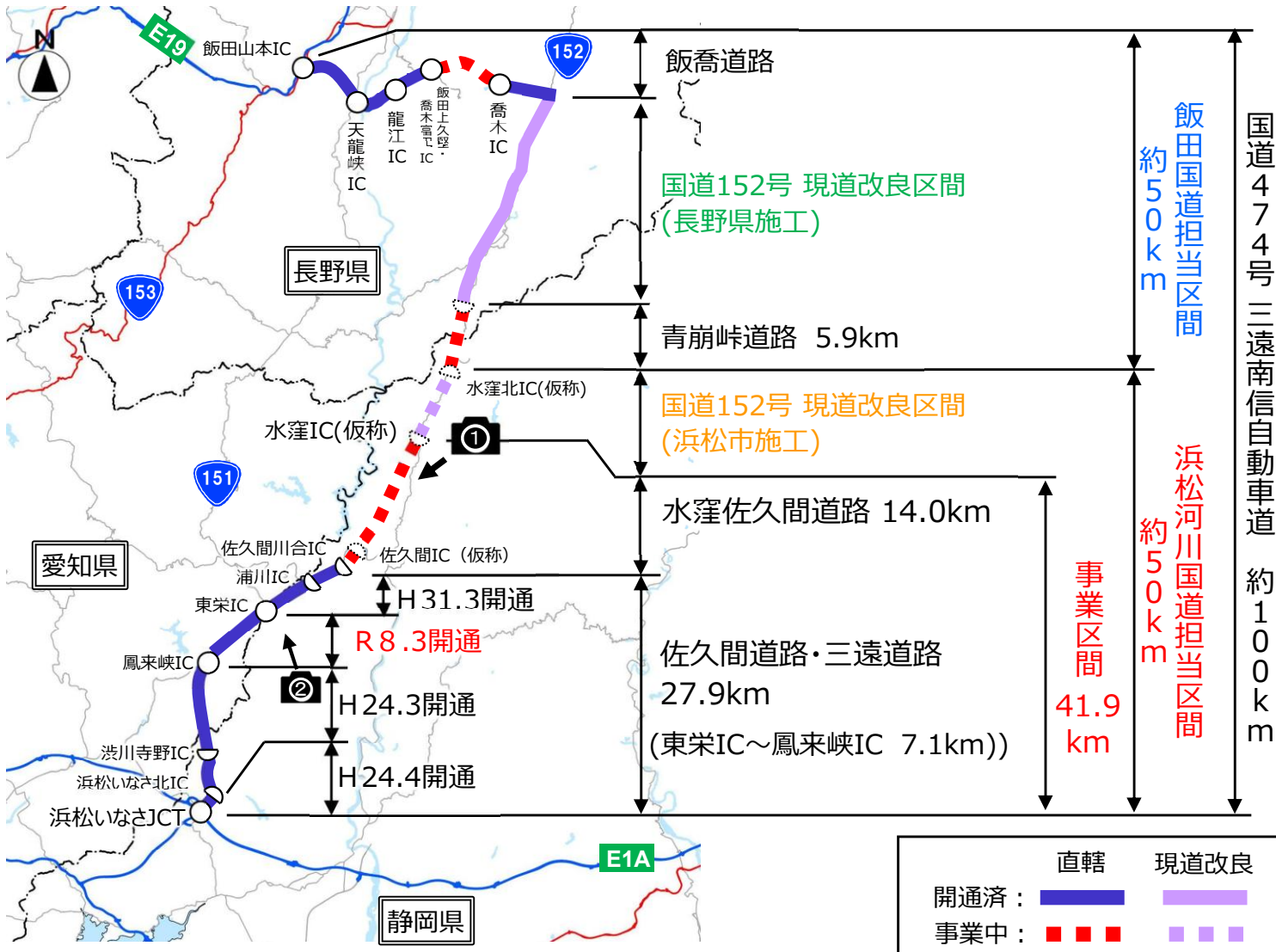
(億円)



人流・物流を支えるネットワークの整備 <三遠南信自動車道の概要>

- 三遠南信自動車道は、長野県飯田市（中央道）と静岡県浜松市（新東名）を結ぶ延長約100km[※]の高規格道路であり、長野県、浜松市による道路改良（現道改良区間）も含め約7割（約67km）が開通済み。
- 浜松河川国道事務所では、水窪IC（仮称）～浜松いなさJCTの41.9kmの事業を担当しており、現在、水窪佐久間道路（14.0km）の事業を実施。三遠道路（東栄IC～鳳来峡IC（7.1km））については開通後の整備工事等を実施

※国道152号現道改良区間含む



①水窪佐久間道路整備イメージ図

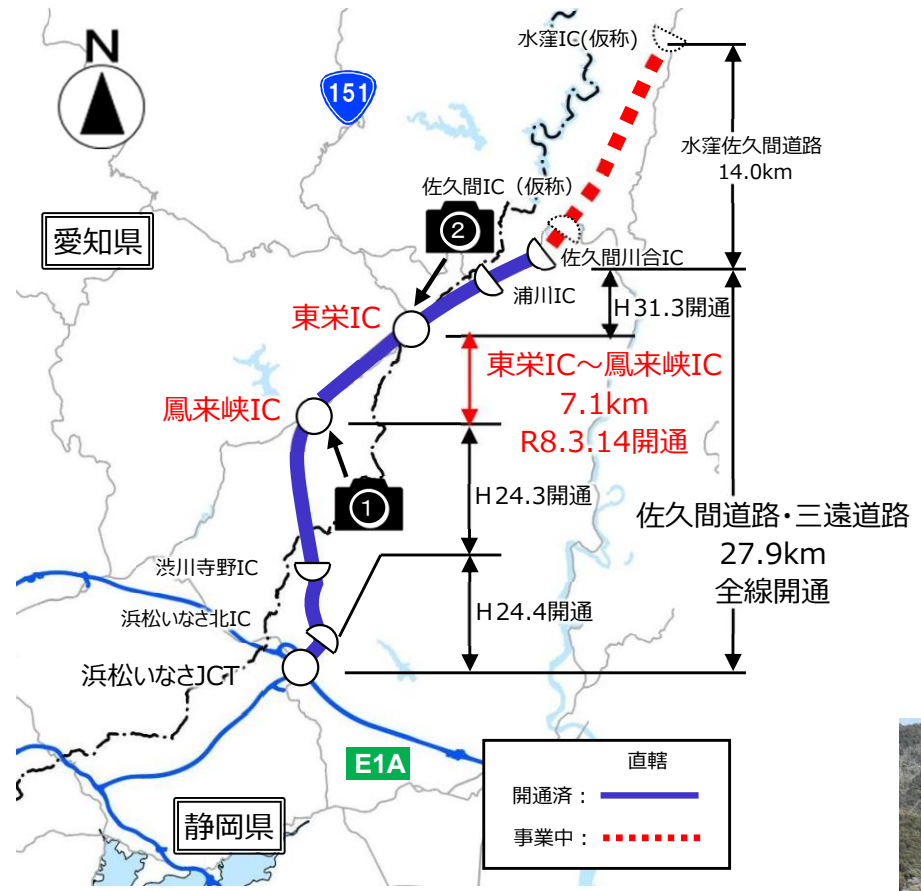


②東栄IC

	直轄	現道改良
開通済:	■ (Solid Blue)	■ (Purple)
事業中:	■ (Dashed Red)	■ (Dashed Purple)

人流・物流を支えるネットワークの整備 <三遠南信自動車道の概要>

- 三遠南信自動車道（東栄IC～鳳来峡IC）の開通式典を令和8年3月14日に行いました。
- 佐久間道路・三遠道路は今回の開通（7.1km）により全線開通となります。



はさみ入れ・くす玉開披



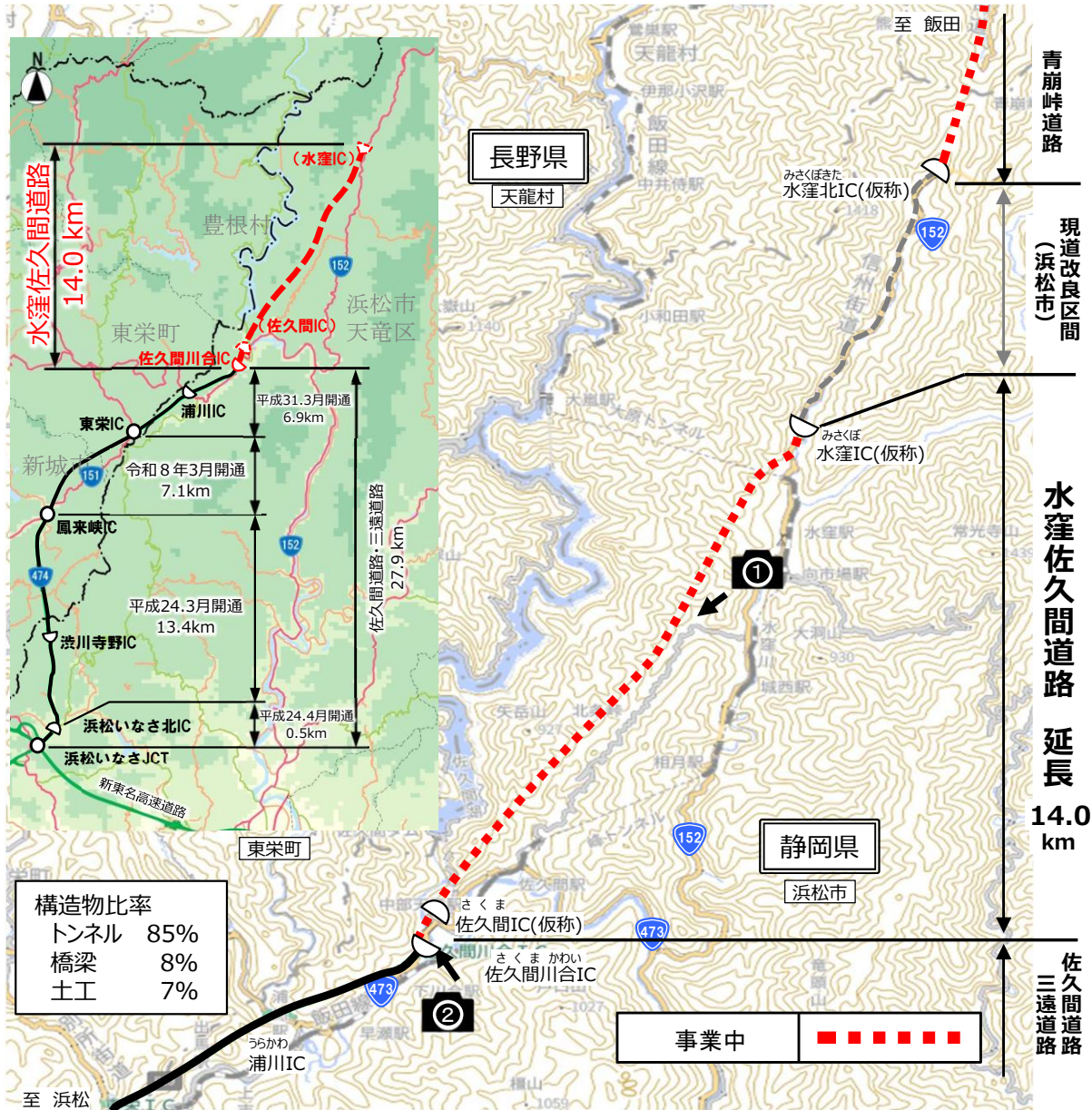
① 鳳来峡IC付近



② 東栄IC付近

人流・物流を支えるネットワークの整備 <水窪佐久間道路の概要>

- 水窪佐久間道路は、平成31年度に事業化し、水窪ICと佐久間川合ICを結ぶ延長14.0kmの事業。
 - 令和8年度は、環境調査、水文調査、地質調査、用地調査、道路予備修正設計、道路・橋梁・トンネル詳細設計、用地買収を推進。
- ※R7補正予算含む



延長：14.0km
規格：第1種第3級
車線数：2車線
設計速度：80km/h



①完成イメージ図

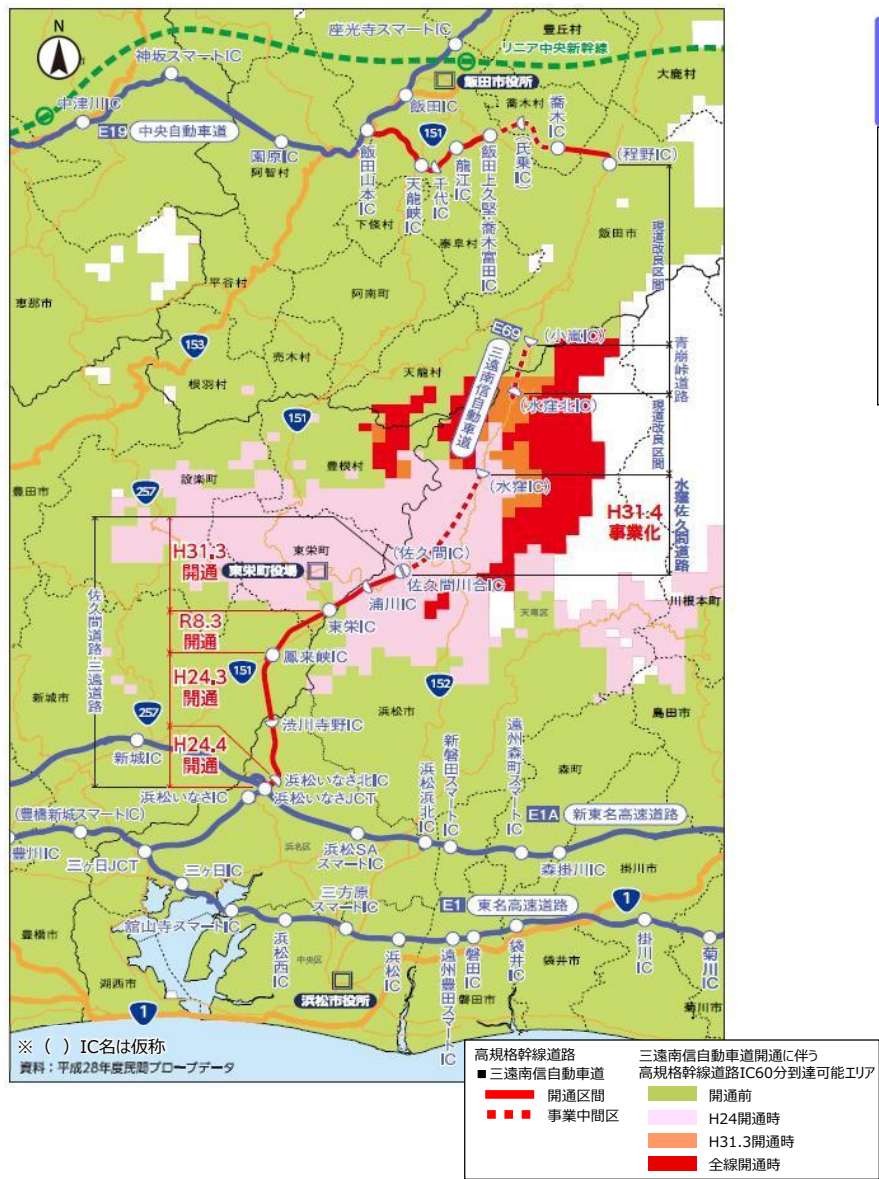


②天竜川渡河部

人流・物流を支えるネットワークの整備 <三遠南信自動車道の整備効果>

- 三遠南信自動車道の整備により、高規格幹線道路ICへの60分到達可能エリアが拡大し、全線開通により奥三河・北遠・南信地域は概ね60分到達可能エリアとなる。
- 三遠南信自動車道の整備により、地域の医療体制の充実や搬送時の患者への負担軽減等に寄与

■ 高規格幹線道路IC60分到達可能エリア



■ 第三次救急医療施設60分カバー面積の拡大



【走行性・安全性の向上】

<開通前>

狭隘な箇所を通過せざるを得ず、**ずれ違いが困難**



<開通後>

走行性がよくなり、**搬送時間短縮**
患者への負担軽減



出典：(現況) ETC2.0プロポーザータ R7.10平日平均(東栄IC～鳳来峡IC間は設計速度で算出)
(整備前) 三遠南信自動車道が全線未整備として算出 (整備後) 事業中間区間は設計速度にて算出

人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号の概要>

- 管内の国道1号は、8つの区間のバイパス（BP）があり、うち3 BPが完成し、5 BPが暫定供用中。
- 各バイパスの交通状況（交通量、旅行速度等）も踏まえ、改築事業を計画的に推進中であり、現在、島田金谷BPと浜松BPで拡幅等事業を実施しており、袋井BP、磐田BPでIC改良を実施中。



	潮見BP	浜名BP	浜松BP		磐田BP	袋井BP	掛川BP	日坂BP	島田金谷BP			
									菊川・島田市境 ～大代IC	大代IC ～旗指IC	旗指IC ～野田IC	
延長(km)	5.9	12.7	18.3		7.2	9.1	9.9	4.3	10.4			
交通量(台)	31,800	41,500	42,600		74,600	54,500	33,800	29,800	29,300			
ピーク時 旅行速度 (km/h)	54	62	28		45	52	38 ※1		48 ※1			
							34 ※2	53 ※2	37 ※2	65 ※2	45 ※2	
現在の状況	暫定 2車線	S53年完成 (4車線)	暫定4車線		H20年 完成 (6~8 車線)	H24年完成 (4車線)	H24年完成 (4~6車線)	暫定2車線		暫定 2車線	R7年完成 (4車線)	暫定 2車線
	付加車線 施工済み		事業中	大池IC上り線オンランプ 西郷IC下り線オンランプ 延伸施工済				事業中	事業中			

交通量：R3全国道路・街路交通情勢調査

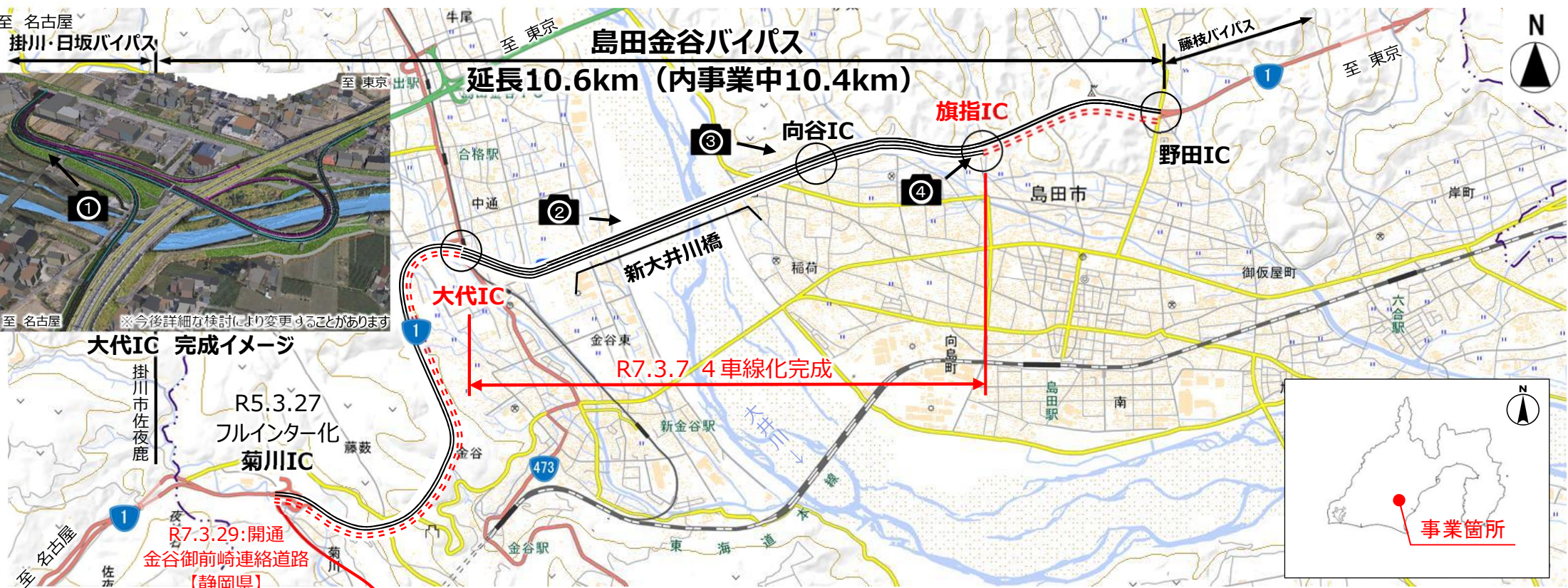
ピーク時旅行速度：ETC2.0データ R7.10 平日 ※各区間の時間帯別旅行速度のうち、最低旅行速度を記載

※1 対象区間全線のピーク時旅行速度を記載

※2 分割区間ごとにピーク時旅行速度を記載

人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号島田金谷バイパスの進捗状況>

- 島田金谷バイパスは、野田IC～掛川市佐夜鹿の10.4kmについて、4車線化整備を行う事業として平成24年に事業化。
- 令和8年度は大代ICの改良工、橋梁下部工、橋梁上部工を推進。
また、大代IC～掛川市佐夜鹿間の改良工の推進及び、新たに用地調査、移転補償、橋梁下部工に着手。



①大代IC



②新大井川橋 (右岸側)



③向谷IC

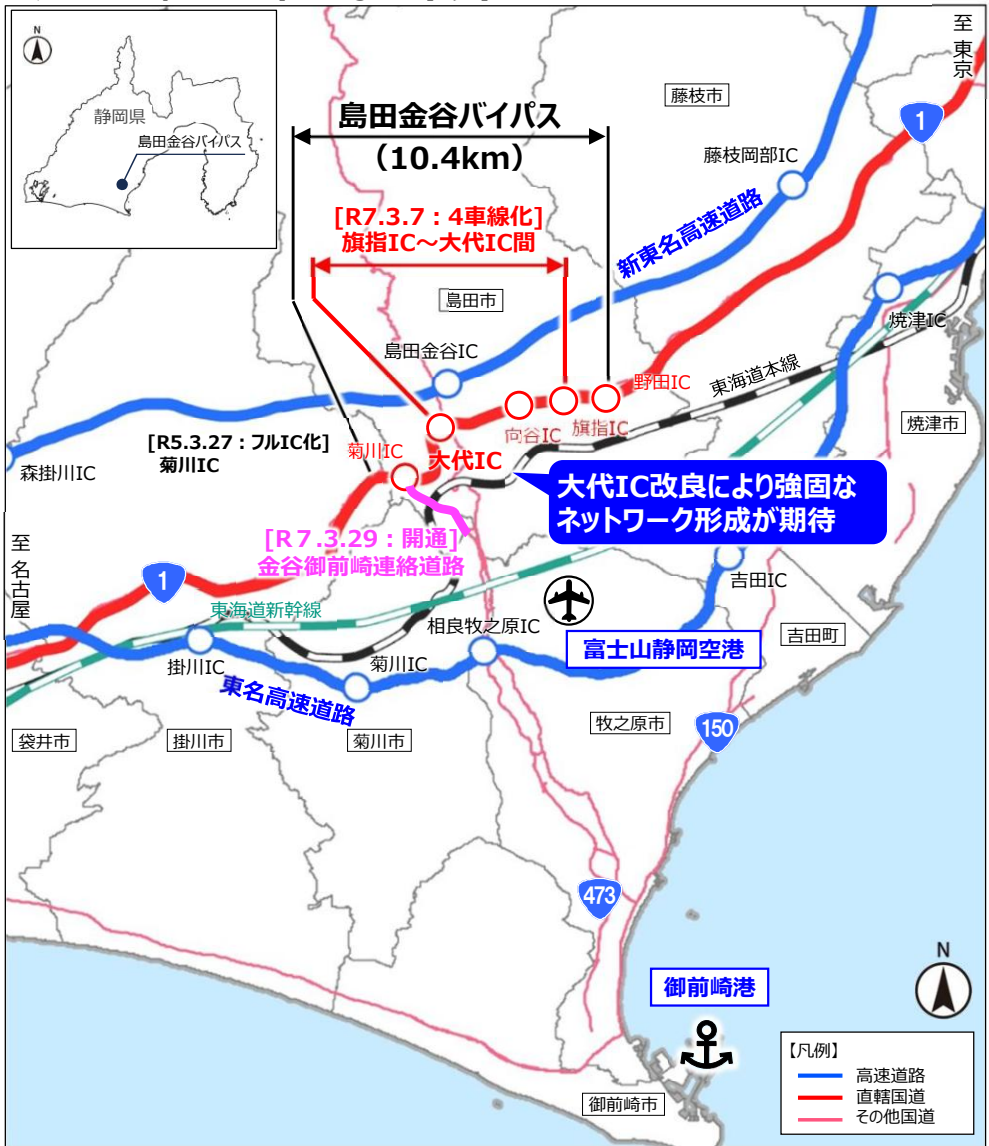


④旗指IC

人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号島田金谷バイパスの整備効果>

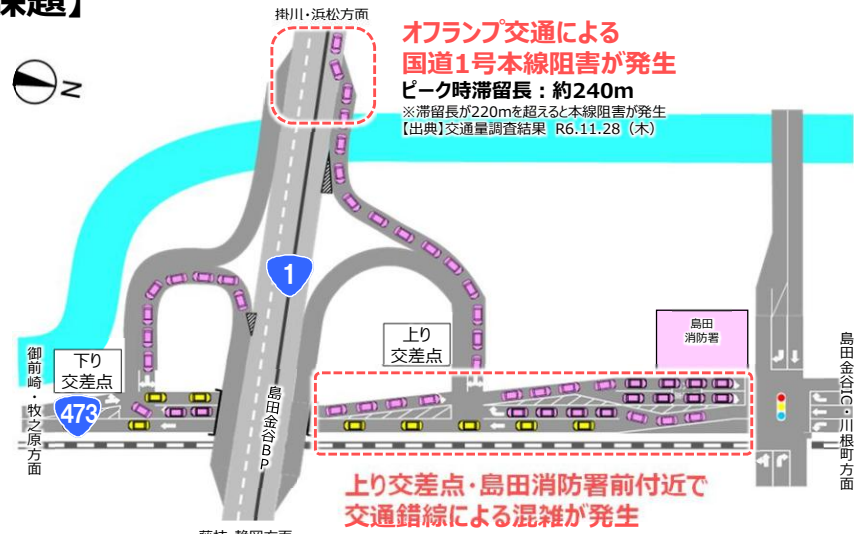
- 大代ICでは、オフランプ交通による国道1号本線阻害やIC交差点周辺（国道473号）で交通混雑が発生している。
- 大代IC～菊川IC間は金谷御前崎連絡道路と連携し、東西軸と南北軸の両方を担っている。
- 大代IC～菊川IC間の4車線化及び大代ICの改良整備（交差点集約・滞留長延伸）により、より強固なネットワークの形成が期待される。

■周辺道路網の整備によるネットワークの強化

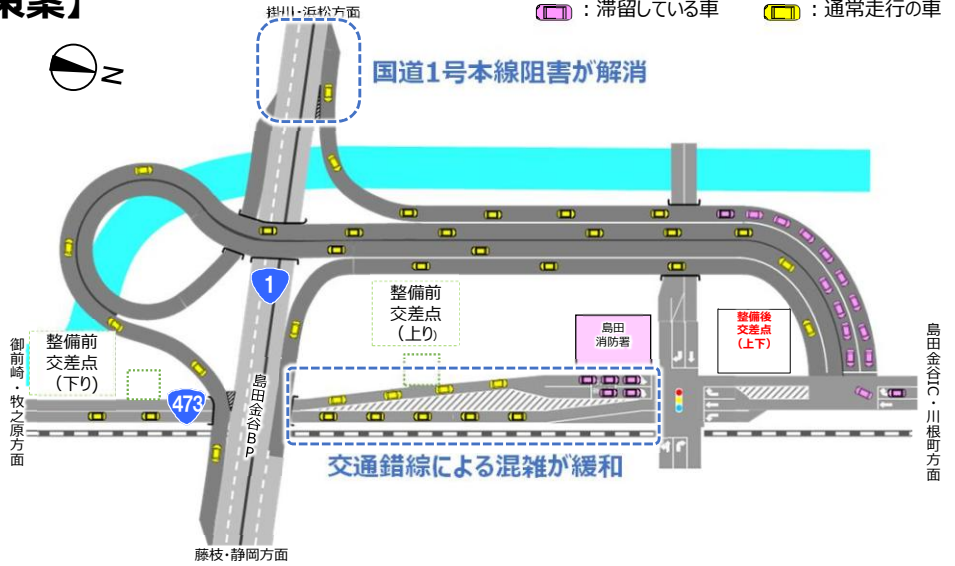


■大代ICの交通課題と対策案

【現況課題】



【対策案】



人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)>

- 国道1号浜松バイパスは、令和4年度に新規事業化し、長鶴～中田島砂丘入口交差点の区間6.4kmについて、立体化及び現道拡幅を行う改良事業。
- 令和8年度は、地質調査、道路詳細設計、橋梁詳細設計を推進。

※R7補正予算含む

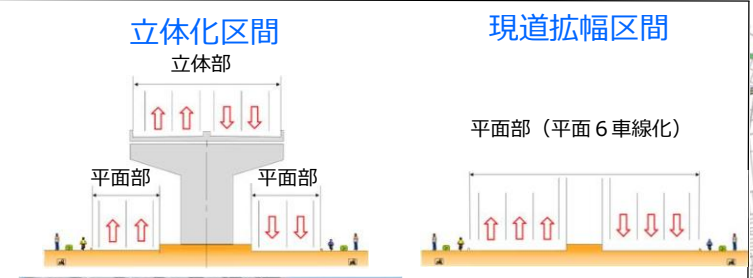
延長：6.4km

立体化区間

立体部（4車線） 規格：第3種第1級 設計速度：80km/h
 平面部（4車線） 規格：第3種第2級 設計速度：60km/h

現道拡幅区間（6車線）

規格：第3種第1級 設計速度：80km/h



③下飯田交差点

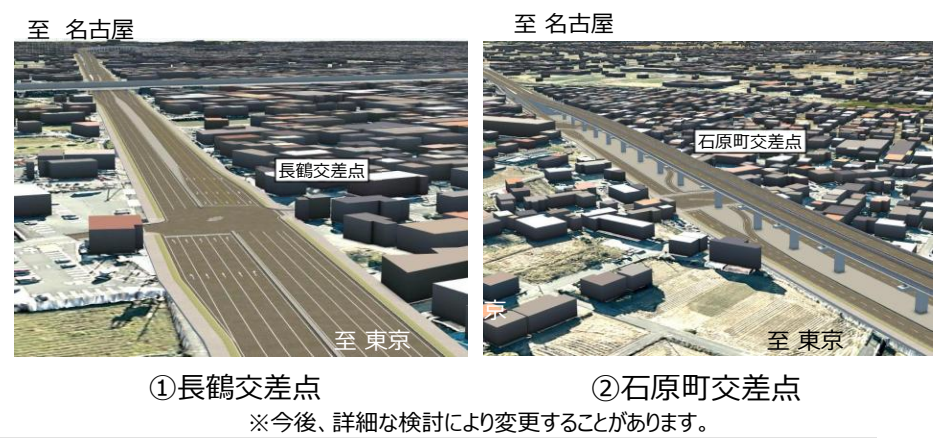
※今後、詳細な検討により変更することがあります。



主要交差点の渋滞状況



完成イメージ※



人流・物流を支えるネットワークの整備 <国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)の整備効果>

- 浜松バイパスは信号が連坦し、交通容量を大幅に超過しているため、近隣のバイパスと比較しても速度低下が著しい。
- 立体化及び現道拡幅により、交通の適正化と旅行速度の向上が図られ、地域交通の円滑化と安全性の向上に寄与。
- 更に、浜松市南部の物流拠点から浜松 I Cまでの所要時間が約 6 分短縮され、物流の速達性向上に寄与。

■地域交通の円滑化

現況 信号の連坦による渋滞が発生

上り 東京方面
交差点密度 0.9箇所/km

至 浜松駅
交差点密度 2.2箇所/km

下り 名古屋方面
信号の連坦部で渋滞※が発生

※平均速度30km/h以下
旅行速度出典：ETC2.0プローブデータ (R6.10平日)

整備後 立体化及び現道拡幅により旅行速度が向上

①長鶴交差点の渋滞状況

状況	速度 (km/h)
現況	28
整備後	51

約20km/hの速度向上

②石原町交差点の渋滞状況

【現況】ETC2.0プローブデータ (R7年10月：平日7-19時平均)
【整備後】近隣国道1号の立体4車線区間及び平面6車線区間におけるETC2.0プローブデータ (R7.10月：平日7~19時平均値) より算出

■物流の速達性向上

約13km

米津 (物流拠点)

事業区間

工場

浜松市南部 物流拠点(米津)

現況 約26分

整備後 約20分

約6分短縮

名古屋方面

浜松IC

東京方面

E1

③石原町交差点の物流車両の渋滞状況

【現況】ETC2.0プローブデータ (R7年10月平日7-19時平均)
【整備後】近隣国道1号の立体4車線区間及び平面6車線区間におけるETC2.0データ (R7.10月：平日7~19時平均値) より算出

交通の安全・安心の確保 〈国道1号及び国道474号の道路管理〉

- 日本の大動脈である国道1号の島田市野田から豊橋市東細谷町（静岡・愛知県境）までの延長75.7 km及び国道474号（三遠南信自動車道）の延長27.9kmの道路管理を実施。
- 道路利用者が安心して道路を利用できるように、事故等にて損傷した付属物や異状があった道路構造物等の補修、橋の耐震補強等を実施。

■ 道路管理



道路パトロール（落下物回収）の状況



舗装の応急復旧の状況

■ 構造物の点検



橋梁点検の状況（浜名大橋）



トンネル点検の状況（三遠道路1号トンネル）

■ 構造物の補修、補強



橋梁耐震補強の状況（袋井高架橋）



橋梁耐震補強の状況（土橋高架橋）

交通の安全・安心の確保 <国道1号の交通安全対策>

○ 交通事故を防止し、安全で円滑な交通を確保するため、国道1号にて交通安全対策を実施。



岩井IC改良 (磐田市内)

- ・インターチェンジ交差点の付加車線を延伸することで、本線への滞留のはみ出しの抑制を図る。
- ・令和8年度は工事を推進。

工コパ北交差点改良 (掛川市内)

- ・交差点のコンパクト化及び上り線の右折車線の延伸に向け、調査を推進。
- ・令和8年度は工事に着手。



袋井東部地区事故対策事業 (掛川市～袋井市)

- ・交差点のコンパクト化を行うことで、交通事故の防止を図る。
- ・令和8年度は工事に着手。



写真①: 同心橋東交差点 停止線付近



写真②: 国本交差点 停止線付近

交通の安全・安心の確保 <道の駅>

○ 道路利用者が安心して立ち寄り、快適な休憩場所として利用できるよう、国道1号「道の駅」駐車場やトイレの管理を実施。

■「道の駅」潮見坂



< 設備 >



道路情報モニター



24時間使用可能な
ベビーコーナー

■「道の駅」掛川



< 設備 >



道路情報モニター



24時間使用可能な
ベビーコーナー

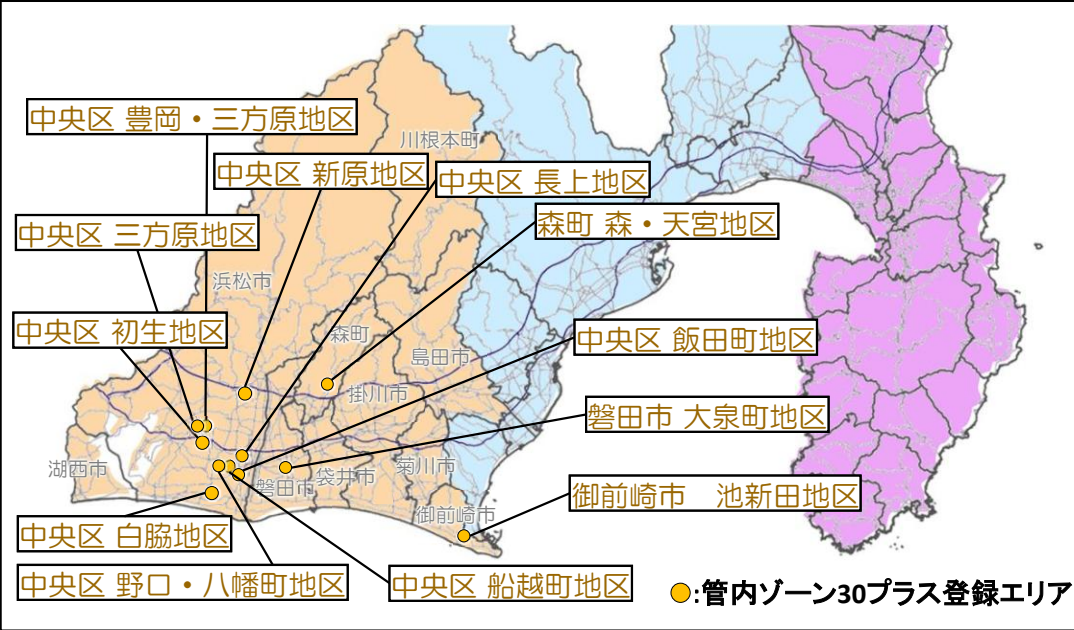


防災施設 (貯水タンク)

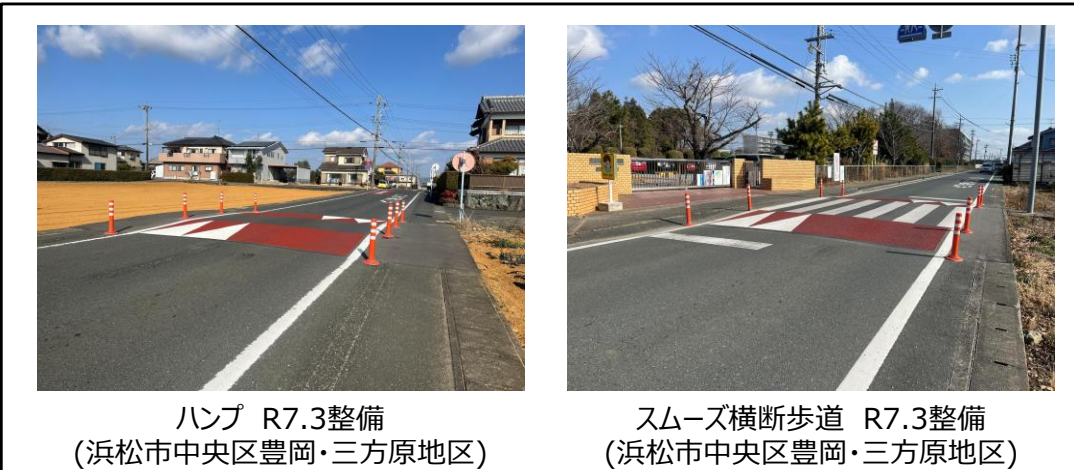
生活道路の交通安全対策(ゾーン30プラス登録)の支援

○ 生活道路の安全対策として自治体が策定する「ゾーン30プラス」について技術的支援（ETC2.0を活用したデータ分析等）を実施。

■管内ゾーン30プラス登録箇所



■管内物理的デバイス整備事例



■技術的支援実施事例 (ETC2.0を活用したデータ分析)

浜松市浜名区新原地区 2)急減速

国土交通省

・小学校・幼稚園付近の交差点部で急減速が発生(点在)している。

急減速発生位置を分析
・エリア内の潜在的危険箇所を整理



<凡例>

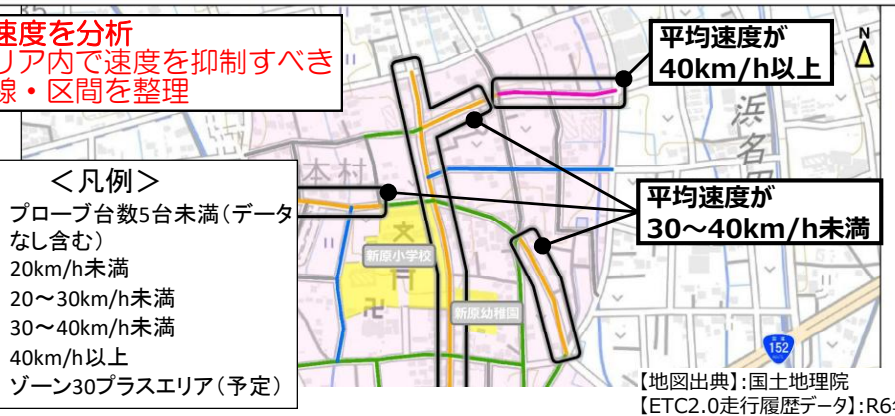
- ▲ 0.5~1.0G未満
- ▲ 0.4~0.5G未満
- ▲ 0.3~0.4G未満
- ゾーン30プラスエリア(予定)

浜松市浜名区新原地区 4)平均速度

国土交通省

・通学路の一部路線で、平均速度が30~40km/h未満であり、エリア北東側の一部路線では40km/h以上である。
・国道152号に接続する一部路線で、平均速度が40km/h以上である。

平均速度を分析
・エリア内で速度を抑制すべき路線・区間を整理



<凡例>

- プローブ台数5台未満(データなし含む)
- 20km/h未満
- 20~30km/h未満
- 30~40km/h未満
- 40km/h以上
- ゾーン30プラスエリア(予定)

災害時

被害の把握

TEC-FORCEリエゾンの活用

 上空から状況把握	 支援ニーズを把握
 施設の被害状況調査	 災害状況リアルタイム配信
 進入・避難ルート確保	 浸水エリアの排水
 応急復旧に関する助言	 災害申請に向けた支援



特異な災害時

復旧方針を検討する際には

TEC-FORCE
高度技術指導班
(土研・国総研)の活用


高度な技術指導
被災状況調査


応急措置や
復旧方針樹立等の
指導

- 例えば...
- ▶ 土砂災害専門家による現地調査
 - ▶ 監視装置の設置や、捜索作業中止判断基準の提案等の技術的助言を実施
 - ▶ 土砂災害時の警戒区域の設定

応急復旧時

資機材の提供

<p>資材</p>  <p>異形ブロック 砕石 大型土のう プルーシート</p>	<p>機材</p>  <p>照明車 バックホウ 排水ポンプ車 小型衛星画像伝送装置</p>
--	---

資材：一部国負担(可能な場合有り)
機材：無償貸与(燃料、運転手等は対象外)
対策本部車、衛星通信車、排水ポンプ車、照明車、待機支援車、応急組立橋、バックホウ、小型衛星画像伝送装置

災害協定の活用

 建設業協会に派遣を要請・調整	 他県の建設業協会に派遣を要請
---	--

- ▶ 地方整備局事務所等⇔市町村長等 ホットライン構築
- ▶ 必要に応じてリエゾンを派遣し様々な調整を実施

災害時

被害の把握

TEC-FORCEリエゾンの活用

上空から状況把握

ドローンを使った調査を行い、発災直後の状況を上空から迅速に把握。



施設の被害状況調査

被災自治体が管理する施設の被害状況を調査。



進入・避難ルート確保

迅速な救助活動や復旧作業のための進入・避難ルート確保を行う。



応急復旧に関する助言

早急な復旧に向け、公共建築物の応急復旧に関する助言を行う。



支援ニーズを把握

自治体の被害情報や支援ニーズを把握、様々な調整を行う。



災害状況リアルタイム配信

被災現場の状況をリアルタイムで配信し、情報を共有する。



中部地整(静岡県熱海市伊豆山)

浸水エリアの排水

大雨、洪水により溜まった水を排除。



災害申請に向けた支援

円滑な災害申請に向けた支援を行う。



特異な災害時

復旧方針を検討する際には

TEC-FORCE
高度技術指導班
(土研・国総研)の活用

**高度な技術指導
被災状況調査**



**応急措置や
復旧方針樹立等の指導**



- 例えば...
- ▶土砂災害専門家による現地調査
 - ▶監視装置の設置や、捜索作業中止判断基準の提案等の技術的助言を実施
 - ▶土砂災害時の警戒区域の設定

その他 <地域と連携した取り組み>

- 浜松河川国道事務所では、防災や土木に関するイベント等を通して地域の方や学生と交流を行っている
- ボランティア活動団体の皆様と天竜川沿川の市民の皆様と天竜川クリーン作戦を行っている



【道路】地域社会教育(大学生)への協力



避難坑探検ツアー



【河川】地域社会教育(中学校)への協力



天竜川クリーン作戦



国土交通省 防災のお仕事 を開催



【防災】照明車・対策本部車の展示



【河川】流域治水クイズ



【道路・河川】島田金谷バイパス、ミズベリング等の事業紹介



はままつ建設フェスタ2025に出展



浜松河川国道事務所

〒430-0811 浜松市中央区名塚町266

H P

<https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>

E-mail

cbr-hamamatsu@mlit.go.jp